

学習課題（中学校2年生）



【数学】

<学習内容>

図形の基本的な性質について考えよう。（教科書 P104～105）

～合同な三角形はどうして敷き詰められるのだろうか～

<取り組み方>

- (1) 教科書 P104 の三角形と合同な三角形を書いてみよう。元の三角形の何が分れば、合同な三角形がかけるだろうか。
- (2) 巻末②にある、(1)の三角形と合同な三角形を切り取って、平面を敷き詰めてみよう。
- (3) (2)で敷き詰めた図を見て、次のことを考え、「取組シート」やノートに書いてみよう。
 - (ア) 三角形の3つの角の大きさの和について、どんなことが言えるだろうか。
 - (イ) 直線が交わってできる角について、どんなことが言えるだろうか。
 - (ウ) そのほかに、どんなことが言えるだろうか。
- (4) 合同な三角形で平面が敷き詰められるのはどうしてだろうか。

<学習のヒント>

- (1) 小学5年生のときに学習した【合同】について思い出してみよう。
2つの図形がぴったり重なるとき、それらは合同であると言いましたね。ぴったり重なるとは、辺の長さや角の大きさがどのようなときだろうか。
- (2) 同じ角がどこにあるのかが分かるように、○、×、△の印を書いてみよう。
- (3)
 - (ア) (2)で書いた○、×、△の角が集まっている部分に注目してみよう。
 - (イ) 隣り合った角や向かい合った角に特徴はあるかな。
 - (ウ) 遠くにあるけれど同じ大きさの角はどうなっているかな。また、直線同士の関係はどうなっているかな。
- (4) 平面が敷き詰められるのは、1点に集まった角の和がどのようなときかな。この三角形以外でも敷き詰めることができるかな。